



小川自治会だより

—4月・5月合併号—

2019年5月12日
発行責任者：長谷川 義剛
編集責任者：林 紀史

www.ogawajk.co-site.jp/

☆2019年度小川自治会役員が次の通り決定しました（総務部）

2019年度 定期総会が4月14日（日）10:00～ 小川小学校 体育館で開催され、会長に長谷川 義剛氏が再任された他、次の役員人事が承認されました。（敬称略）

副会長：吉成 公彦（再任）、大津 淳子（再任）
副会長兼会計：林 紀史（再任）
会計：大坪 美代子（再任）
会計監査：勝又 昉（再任）、宍戸 靖夫（再任）
相談役：堤 光雄（留任）
支部長 x 11名（内8名は班長兼任、全員新任） 班長 x 62名（全員新任）
事務担当には新しく和知 志庸さんが任命されました。

☆2019年度小川自治会専門部体制（総務部）（副）は副会長、（数字）は支部長（敬称略）

専門部	部長	副部長
総務部	林（副）	土屋（10）、吉成（副）
環境部	大津（副）	中嶋（2）、木内（5）、松浦（7）、小林（8）、平井（9）
行事事務部	瀧（3）	小暮（4）、丹野（6）、木次（11）、吉成（副）
防災対策部	吉成（副）	布施（1）
安全対策部	林（副）	

☆会員名簿の発行と調査協力をお願い（総務部）

2015年に発行して以来、2017年の個人情報保護法の改正を踏まえ会員名簿の発行を議論してきましたが、防災対策を中心とした「安全・安心の街作り」に必要なご意見が多く、個人情報保護法の趣旨を踏まえたうえ、下記の通り2019年度に発行することにします。

- ①掲載する個人情報は従来通り「世帯主氏名、住所、電話番号」とする。
- ②ただし住所と電話番号は掲載を希望しない場合は申し出るにより不掲載とする。
- ③2019年上期会費徴収時に②の希望を班長が確認する。
- ④配布は従来通り「世帯主氏名、住所、電話番号」すべてを掲載する世帯に限定する。
- ⑤発行は2019年秋を予定。

☆2019年度自治会費の徴収（会計） 班長さんが徴収に伺います。

- ・会費は1月200円で、1年分または半年分まとめて現金で納入下さい。
- ・途中で退会しても払い戻しは行いません。

☆2019年度役員名簿を配付します（総務部）

会費徴収時に班長さんが配布します。個人情報があります。取り扱いご注意ください。
名簿は世帯主ではなく主に実際に役員として活動していただく方のお名前になっています。

回覧													

☆防災隊活動（防災対策部、自主防災隊）

2019年度の自主防災隊責任者全体会議を4月21日（日）10時から小川会館で49人が参加し開催しました。委任状の提出は42名。2019年度の責任者（支隊長、班長、本部隊員）は94名で、委任状を含めた出席率は91%でした。所要時間は2時間弱です。

第1部：全体会議：

「2018年度の活動と決算」、「2019年度の体制」及び「2019年度活動計画と予算計画」については提案どおり承認されました。

□現状と課題

東日本大震災から8年が経過し、その後 熊本の地震、北海道の地震などが起こっている。小川自治会の地域は、東京都の被害予測では被害が少ないと思われる。①道路も広いし、②住宅の区画もしっかりとし、③公園もある。④新築やリフォームも進んでいる。しかし、東京都の被害予測は広域で見ているが、小川地域でも場所により震度が違い、震度6強になれば、予想外に倒壊する住宅があることが想像できる。その場合、近所の力で人を救助し、火災があれば消火しなければ、全面延焼は避けられない。消防署は都心のような大変な地域に優先して派遣されるため、小川地域には自主防災隊の力が求められている。一方 高齢化も時間とともに小川にも浸透し、この状況を心に留めながら、どう防災力を上げるかが 今後の課題である。

また、地域の防災力、近助の救援力は、非常時のその中で、元気で無事な人がたくさんいるかどうかで決まる。そのためには その人を含めて、非常時でも力を出せる生活を維持できないと助けることは出来ない。①水道が止まり、②電気が止まり、③下水の問題が起きることも想定されている。助ける人も、助けられる人も 自助による飲料水・生活水・食料の備蓄やトイレ対策・発火防止・家具転倒防止が必要となる。この啓発と実際に役立つ防災情報と斡旋を含む支援サポートが今の自主防災隊に求められている。

□2019年度の方針

1. 2019年度の基本方針（前年と同じ）

目的 : いのち・生活・財産を守る・・・全員の協力と事前の準備が大事

基本方針：

- 1) 全員参加とボトムアップの運営
- 2) 中長期的視野に立ちながら、短期に出来ることから実行していく、ステップバイステップのアプローチ。
- 3) 自分、家族、隣人、自分たちの街を自ら守る「自守防災組織」
- 4) 各支隊、防災専門班の独自性を保ちながら、重複を避け、ノウハウの共有を図る効率的でバランスの取れた活動。
- 5) 迅速な意思決定が行える体制の整備。

2. 2019年度の課題

- ・助ける人も、助けられる人も自助による事前準備が必要
- ・訓練とともに、啓発と斡旋などによる自助促進が重要

3. 2019年の重点活動

- 1) 総合防災訓練の新しいやり方（避難施設開設訓練）を実施
- 2) 啓発・広報を質でも量でもさらに強化
- 3) 備蓄の推進（水・食料・トイレ対策などの共同購入）
- 4) スキル向上を目的としたスタンドパイプ訓練・消火器点検など火災対策
- 5) 支隊の運営改善（全員参加とボトムアップの運営に努力）
- 6) 東京都・町田市の防災活動・防災イベント・防災セミナーを活用

今年の総合防災訓練は10月27日（日）の予定です

□ 2019年度 「小川自治会 自主防災隊」 本部・支隊体制

本部	隊長：長谷川 義剛（自治会長）		
	副隊長：窪田 浩三、石崎 英則（せんげん支隊代表支隊長兼務）		
支隊	本部隊員：吉成 公彦（自治会防災対策部長）、布施 由美（自治会防災対策部）		
	萩原・藤沢・小林・小城（4代表支隊長兼務）		
事務局：5代表支隊長の共同運営			
支隊		代表支隊長	支隊長
	せんげん	石崎 英則	田代 佐貴 佐藤 勇
	下小川	萩原 紹夫	平田 一郎 鮫島 穰 大高 晃 池田 正明
	かえで	藤澤 清	土屋 進 荒木 康夫
	蜂谷戸	小林 勝美	山澤 興英 飯田 弘 坂本美智子 舞木 良 前田 功
柳谷戸	小城 捷信	鴨志田 聡 寺西 孝郎 池上 新平 野中 章行 半田 栄 定成誠一郎 渡邊 能良 佐藤 明	

[質疑応答]

Q 1. 自治会員は全員防災隊員ということが意外と知られていないが？

A 1. 活動できるかどうかは別として災害時にご近所の助け合いも重要なので全員防災隊員です。これからもしっかり広報していきます

Q 2. 小川小学校は避難施設か救護連絡所か、小川高校は？

A 2. 小川小学校は両方で小川高校は避難施設です。

注) 避難施設：地震による自宅倒壊など住居を失った被災者の仮宿泊施設となる場所

Q 3. 小川小学校に全員避難訓練をする意味は？

A 3. 最悪の場合小川小学校に避難することを考え、在宅避難と比べより安全な避難行動を考えるための総合訓練としたい。

第2部：懇親会

年1回の全支隊参加で防災隊以外からも含め35名の参加があり、大いに盛り上がり、英気を養いました。

☆防犯情報（安全対策部）

□第1四半期の犯罪発生状況（1/1～4/1）

町田市役所配信情報より

() 昨年	町田市	南地区	小川	自治会	南地区発生場所
侵入窃盗	26(16)	10(5)	0(0)	0(0)	金森x2、南つくし野x2、つくし野x2 金森東、成瀬、南成瀬、鶴間
車上狙い	27(9)	11(5)	1(0)	0(0)	金森x3、成瀬が丘x2、高ヶ坂x2 南成瀬、つくし野、南町田。小川5
振込め詐欺	37(40)	-	-	-	町田市内で振り込め詐欺の被害が相変わらず多発

・第1四半期は小川自治会内では侵入窃盗、ひったくり、車上狙いとも発生しませんでした。

□防犯パトロール活動が満14年経過しました

2005年4月にスタートした防犯パトロール隊は、14年間のパトロール回数が3月末で累計1万3千回を超えました。

一方2009年11月から活動開始した青パト隊も9年半の活動を行い、パトロール回数は約2、300回、走行距離は27、500キロを超えました。

この間自治会内の犯罪は大幅に減少し、2017年はついに主要犯罪の発生も無く、2018年は残念ながら侵入窃盗が1件発生しましたが、安全・安心の街づくりに多大の貢献をしました。

パトロール活動を始め種々の防犯活動に参加・協力頂いた方々に改めてお礼申し上げます。

ただ隊員の高齢化や（特に最近世の中で問題になっている高齢者の重大交通事故の増加）、

青パト車両の老朽化など課題も多く、今後の防犯活動の在り方は本年度の重点対策です。

☆1～3月の資源回収実績（環境部） 本年度の年間目標は180t（トン）です。

単位=t	新聞	雑誌・雑紙	段ボール	紙パック	古布	缶類	合計
2019	7.9	23.6	7.8	0.2	2.1	0.6	42.3
2018	8.0	22.2	10.2	0.2	1.8	0.6	43.1
2017	8.2	25.2	8.1	0.3	2.0	0.5	44.2

☆上期公園一斉清掃のお知らせ（環境部） 予定ください。

日時：7月21日（日） 9：00から 1時間～1.5時間

公園：せんげん、下小川、かえで、柳谷戸の4公園

詳細は自治会だより6月号に掲載し、また7月役員会で説明します。

☆定期総会（総務部）内容は配付済総会議案書をご覧ください。

2019年定期総会を4月14日（日）10：00から小川小学校体育館で開催しました。

下記の質問・意見・提案がありましたが、議題は全て原案通り承認されました。

- ・会員数：1, 213（過半数＝607）
- ・所要時間：約 1.5時間
- ・出席者：126、委任状：755 合計：881 73% 過半数を上回り総会は成立
- ・議長：窪田 浩三さん（1丁目）、書記：和知 志庸さん（2丁目）、司会：林副会長
- ・議題：2018年度事業報告・会計報告・会計監査報告
役員改選
2019年度事業計画・予算案

主なご質問・ご意見・ご提案（要旨）

- Q1. 青パトに車検など費用がかかっているが警察からの貸与で自治会の負担は運営費だけではないのか
A1. 貸与ではなく、補助も一切なくすべて自治会負担で、所有者も名目上は青パト隊長となっています。
- Q2. 防犯活動の効果は十分理解でき今後も必要と思えるが、パトロール隊員の高齢化、青パトの老朽化とドライバーの高齢化など今後活動を継続するための対策は？
A2. 深刻な問題であり、まだ具体案はないが2019年度の重要課題として取り上げています。
- Q3. 繰越金を全額翌年度予算の予備費に計上するのは金額も大きいのでおかしいのでは？
A3. 制度上は別におかしくはない（会計監査も同様見解）。また使用については会則に役員会の承認を必要とする規定があり歯止めになっているので現状通り扱います。
- Q4. 現在の空き巣防止の防犯ステッカー以外に他の自治会でも作成している振り込め詐欺防止や悪徳訪問販売防止のステッカー（ピンポンお断り）も作成・配布できないか？
A4. 防犯連絡会議で検討します。（他で使用している実物があれば提供ください。）
- Q5. 法人化している自治会もある。メリット・デメリットがあると思うが小川自治会では検討しないのか。
A5. 数年前検討して実際に法人化している相模原の自治会の視察も行った。ほかにも理由はあるが会館施設など資産がある場合はメリットがあるが小川は資産もなくメリットが特にないので検討は中止した。
- Q6. 資源奨励金は活動資金の一部として貴重であるが、具体的な計算方法、配布方法を説明してほしい。
A6. 回収業者（大興資源）から毎月送付される回収量報告伝票の数字を3ヶ月まとめて集計し市役所に申請1Kg＝6円で奨励金が支給される。この奨励金を自治会、熟社会、子ども会に3等分で配分
取り扱い組織は「小川自治会資源回収の会」で責任者は小川自治会より選出（現在は会計が兼任）

☆会員情報（総務部）（4月1日現在会員数＝1, 215）

△入 会				▼退 会			
長曾我部	明義	様	第 1 支部 7 班 3 月	岸	友久	様	第 1 支部 1 班 3 月
佐藤	和男	様	第 8 支部 6 班 3 月	川名	知行	様	第 2 支部 5 班 3 月
石井	孝之	様	第 1 支部 3 班 4 月	堀	正尋	様	第 2 支部 6 班 3 月
永田	充	様	第 2 支部 3 班 4 月	澤田	外雄	様	第 9 支部 8 班 3 月
古木	裕明	様	第 2 支部 8 班 4 月				
東	真吾	様	第 7 支部 4 班 4 月				
徳永	直樹	様	第 7 支部 4 班 4 月				